

いえしまを
探るための
てびき



「探られる島」プロジェクト 2009

CONTENTS

01 開催趣旨

02 スケジュール

03 講師

04 主催者

05 いえしま



開催趣旨

「探られる島」プロジェクトは、家島でまちづくりの方法を探りながら活動している生活者有志と、まちづくりを専門とする若手社会人や大学生のグループ studio-S が協力しあい、企画、運営しています。

平成14年から3年間続けてきたまちづくり研修会の中で 家島の魅力や課題について見つめなおす をテーマにさまざまな活動を行ってきました。それらの活動を通じて、私たちは島に住む人が当たり前だと思っていた家島の風景に、他の地域にはない面白さがあることを知りました。そこで、島に住む人の視点で家島の風景の掘り起す だけではなく 島の外に住む人のさまざまな視点で家島の魅力を探られる ことの重要性を感じ、「探られる島」プロジェクトを企画することとなりました。

プロジェクトは、新聞やラジオ等のメディアにも取り上げていただき、大きな反響を得ることができました。また、各年のプロジェクトの成果を一冊ずつのプロジェクトブックにまとめました。

このプロジェクトは、島の人と島の外の人との交流、世代を超えた交流、多様な専門分野を持つ人との交流の場であるとともに、フィールドワークやワークショップの技術、それらの結果をまとめ、プレゼンテーションする技術を習得し、参加者全員のスキルアップを図ることを目的としています。また、今年もその成果をプロジェクトブックとしてまとめ、島内外に情報を発信していきたいと考えています。

プロジェクト 2009 のテーマ ～いえしまの仕事場の風景を探る～

家島の港には、漁業船、ガット船（砕石業の船）、運搬船が多く並んでいます。5.46k m²の小さな島に住まう人たちは、活躍と経済の場を海に求めました。結果、漁業、砕石業、運搬業は長年に渡り、家島の主幹産業として発達してきました。これらの主幹産業が基盤となり、観光地としての家島を形成すべく、島には多くの民宿、旅館、商店などが現在存在します。島を訪れる私たちは家島という島で展開されるこれらの仕事をどのように捉えることができるのでしょうか。島内の人たちの仕事に対する捉え方との差はどう生じるのでしょうか。そこに、島内、島外それぞれの人の「島の楽しみ方と魅力」を見出せるかもしれません。今回は島を支える「仕事場」を取材し、島の楽しみ方、今後のまちづくりについて考えてみようと思います。

対象者

大学生（大学院、短大、専門学校等を含む）および若手社会人で環境や建築の再生、地域づくり等に興味を持つ人（専攻・専門は問いません）

参加費

5,000 円

ただし、以下の項目に対して自己負担が発生します。

家島での宿泊費（朝・夕食付）、昼食費、船代（姫路 - 家島往復分）

受講料この他、姫路港までの交通費、家島郡内の渡船料金も別途自己負担になります。



1日目 プロジェクト説明会

「探られる島」プロジェクトの内容についての説明を行います。また「『課外活動』を行う意味」をテーマとした講義やワークショップを行います。

日時：5月9日（土）14:00～17:00 会場：大阪産業大学梅田サテライト教室



2日目 いえしまフィールドワーク

姫路港に集合、家島に向け高速船で出発。講師の加藤先生、山崎先生から講義を受けた後、家島で働いている方への取材を行います。夜にはオオニシ先生から講義を受けます。

日時：5月22日（金） 会場：家島本島・坊勢島等



3日目 いえしまフィールドワーク

昨日に引き続き朝から取材を行います。仕事場の風景や仕事の姿など取材を行い、色々な情報を収集します。夜からは、取材の成果としてポスター制作及び印刷を行います。

日時：5月23日（土） 会場：家島本島・坊勢島等



4日目 いえしまフィールドワーク

ポスター制作及び印刷を行います。作成したポスターは家島内の会場で展示します。3日間の取材やフィールドワークから「探ったもの」についてそれぞれディスカッションを行い、島民の前でポスター発表会を行います。夕方から家島の住民の方々と一緒に海鮮バーベキューを行います。家島内でのイベント終了後、本州へ帰ります。

日時：5月24日（日） 会場：家島本島



5日目 成果とりまとめ会議

フィールドワークの振り返りを行うとともに、家島の体験したことや風景、家島での仕事について感じたことなど、今後のあり方などについてのまとめ作業を行います。そしてその成果の取りまとめとしてプロジェクトブック作成に向けてとりまとめ作業を行います。プロジェクトブックの内容や校正などについても議論します。

日時：5月30日（土）14:00～17:00 会場：難波市民学習センター



6日目 成果発表会

プロジェクト最後の締めくくりとして成果の発表会を行います。講師の方にも参加していただき、それぞれのグループの探った結果や、プロジェクトブックの内容などについて講評していただきます。

日時：7月4日（土）14:00～17:00 会場：難波市民学習センター



1971 年生まれ。94 年、武蔵野美術大学、工芸工業デザイン学科卒業。2000 年、ロンドン、AA スクール(Honor)首席卒業と同時に、RIBA(英国王立建築家協会)のプレジデント・メダル・コンペで、RIBA part2 部門最優秀賞、シルバーメダルを受賞。01 年、設計ユニット、LAUNCHPAD05 設立。04 年～バンコク KMUTT(大学)で常勤講師。04 年～アルミニウム・ブランド「ecomis」と、空輸可能な軽量建築を共同開発中。07 年、SENSEWARE(Tokyo Fiber 07)展に参加。08 年、ベネチアビエンナーレ「OUT THERE:Architecture beyond building」展に参加。



オオニシ タクヤ
(おおにし たくや)

京都生まれ。これまでに、20 回近い引っ越し経験があるためか、「根無し」の
マインドで、ものを考えるようになる。数年前、学生たちとともに全国各地
をめぐる「リサーチキャラバン」を開始。出かけた先でフィールドワークやワ
ークショップを企画・実施し、その成果をもとに、ちいさなメディアのデザ
インを試みている。現在、慶應義塾大学環境情報学部准教授。専攻はコミュ
ニケーション論、メディア論。



加藤 文俊
(かとう ふみとし)

関西を中心に活躍するランドスケープアーキテクト。公園の計画・デザイン
から運営まで幅広く手がけており、中でもワークショップの手法を用いた計
画づくりを得意としている。代表的なものとして、兵庫県立有馬富士公園の
計画やユニセフパークプロジェクトがある。現在は、(株)studio-L 代表、
京都造形芸術大学非常勤講師、(財)ひょうご震災記念 21 世紀研究機構主任
研究員と幅広く活躍している。

<http://air.ap.teacup.com/yamazaki/>



(いぬしち ぶさ)

「探られる島」プロジェクト実行委員会とは

地域の特性を活かした住民の創意工夫による、住民主体のまちづくりの取り組み等について、住民が学ぶ場として活動してきた「家島まちづくり研修会」を母体として設立されました。

委員会メンバーは、主婦や元教師、行政職員、町議会議員、漁師、旅館経営者など家島を支える様々な職業を持つ人々で構成され、まちづくりに興味を持っている家島町の住民が参加しています。また、これまでに「住民が交流できる広場づくりについて考える（パネルと模型作成）」、「自分たちの手による家島町ガイドブックづくり」等を通じてまちづくりを考え、活動してきました。

「探られる島」プロジェクト以外にも、「家島ポストカード展」、「特産品づくりプロジェクト」、「いえしまゲストハウスプロジェクト」、「うみの家プロジェクト」など家島で行われている活動にも協力しています。

「studio-S」とは

studio-S（スタジオ：エス）は、地域の特性を活かしながら、生活者の視点でまちづくりを行うことを目的とした有志団体です。メンバーは「studio-S」として活動する一方、大学教員、建設コンサルタント、まちづくりコーディネーターを本業とし、全員が関西でまちづくりを研究したり、まちづくりに関わる仕事をしています。

主な活動として平成14年度より家島町のまちづくり事業「家島町まちづくり活動参加研修会」のアドバイザーとしての参加やまちづくりフォーラムの企画・運営等を行っています。今後も「まちづくり」になるような、面白く楽しい活動をいろんな場所で展開していきたいと思っています。

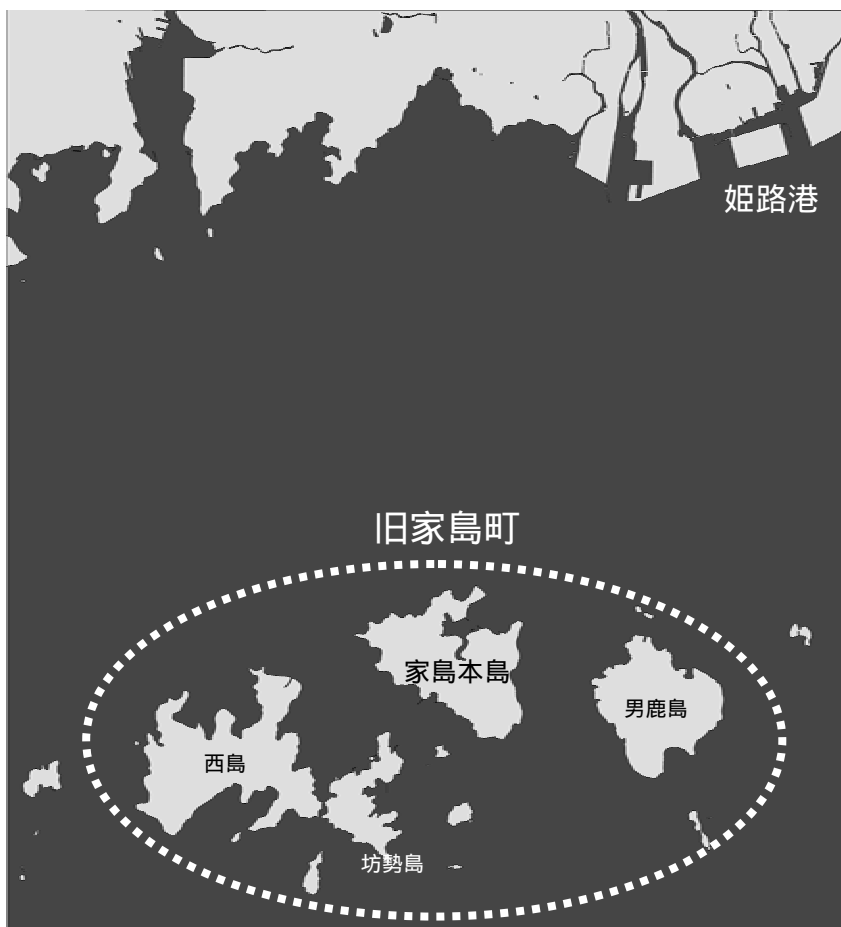
studio-S メンバー

醍醐孝典	神庭慎次	西上ありさ
檀上祐樹	長生大作	井上博晶
曽根田香		



いえしま

兵庫県姫路市家島町は、姫路港から南西 18km、高速船で約 30 分の瀬戸内海上に位置する 40 余の島々で成り立っている地域です。平成 18 年に旧家島町は姫路市に合併されました。人々が生活しているのは主に家島本島と坊勢島で、「探られる島」プロジェクト 2009 では家島本島および坊勢島、男鹿島などフィールドワークの対象としています。



面積：約 20k m² (家島本島は約 5.5k m²)

人口：7,256 人 (家島本島は約 4,334 人)

世帯数：2,526 世帯 (家島本島は約 1,703 世帯)

産業：漁業、採石、海運業が中心でしたが、近年は採石業の低迷により漁業が主となってきています。(2009年3月末 現在)